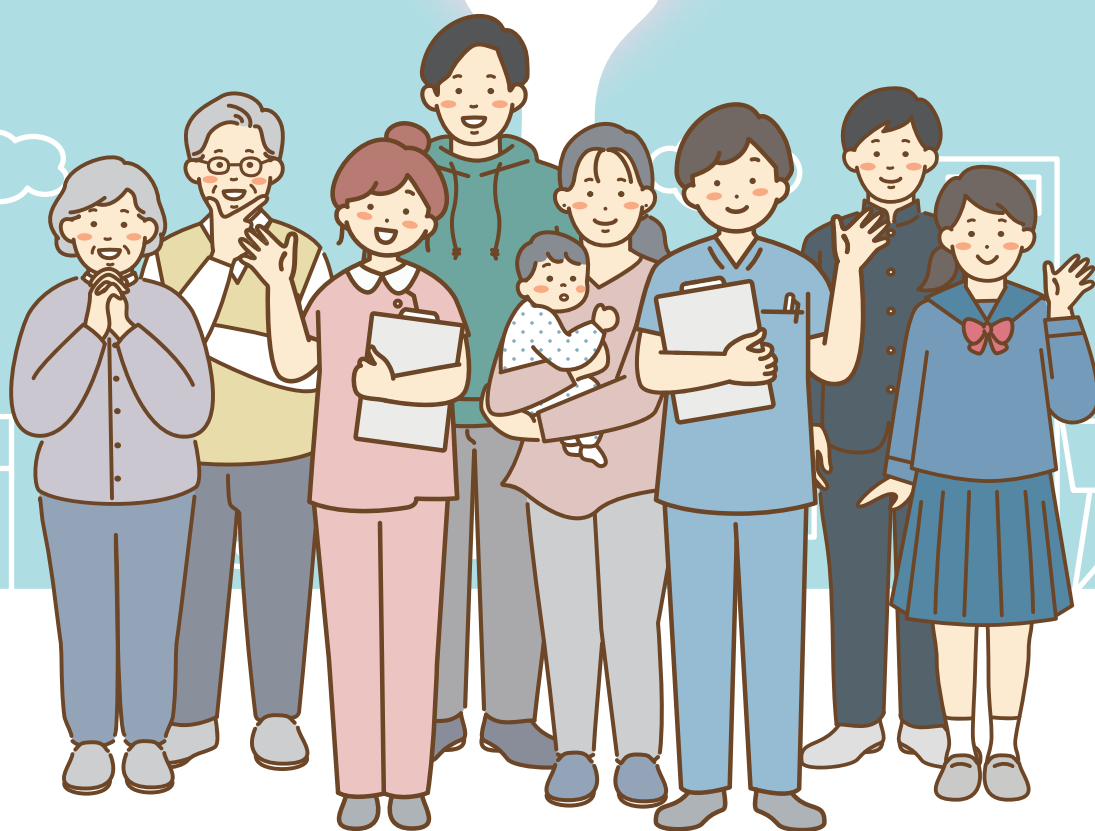


第2次 札幌市がん対策 推進プラン

[概要版]

2024-2029(令和6~11年度)

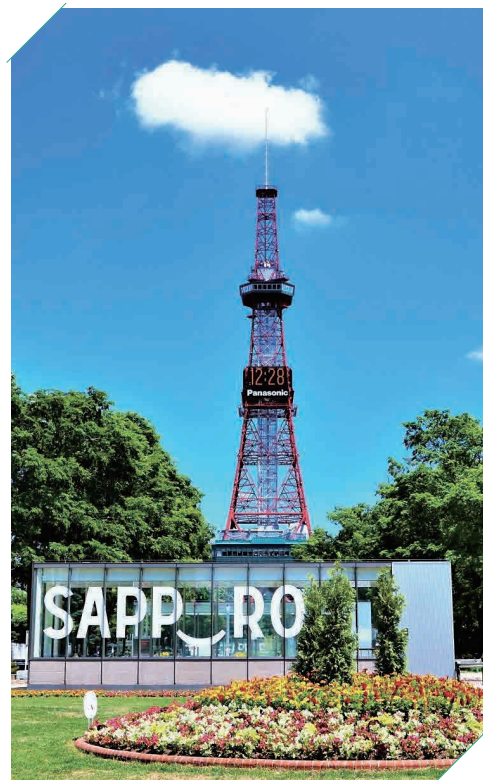


計画の概要

策定の趣旨

札幌市では、総合的ながん対策を早期に実施することにより、がんによる死亡者の減少と、がん患者及びその家族等が抱える苦痛を軽減するため「札幌市がん対策推進プラン」(平成29～令和5年度、以下「第1次プラン」という。)を策定し、対策を進めてきました。がんは昭和51年から札幌市における死因の第1位であり、75歳未満がん年齢調整死亡率^{*}は減少傾向にあるものの、全国平均を上回る状態が続いていることから、がん対策のさらなる推進が求められます。こうした状況の中、誰一人取り残さない総合的ながん対策を推進し、全ての市民とがんの克服を目指すため、「第2次札幌市がん対策推進プラン」(以下、「本プラン」という。)を策定します。

^{*}75歳未満がん年齢調整死亡率：年齢構成の異なる地域間でもがんの死亡状況が比較できるように、年齢構成を調整し、地域比較や年次比較を可能にした死亡率(人口10万人あたりの数)

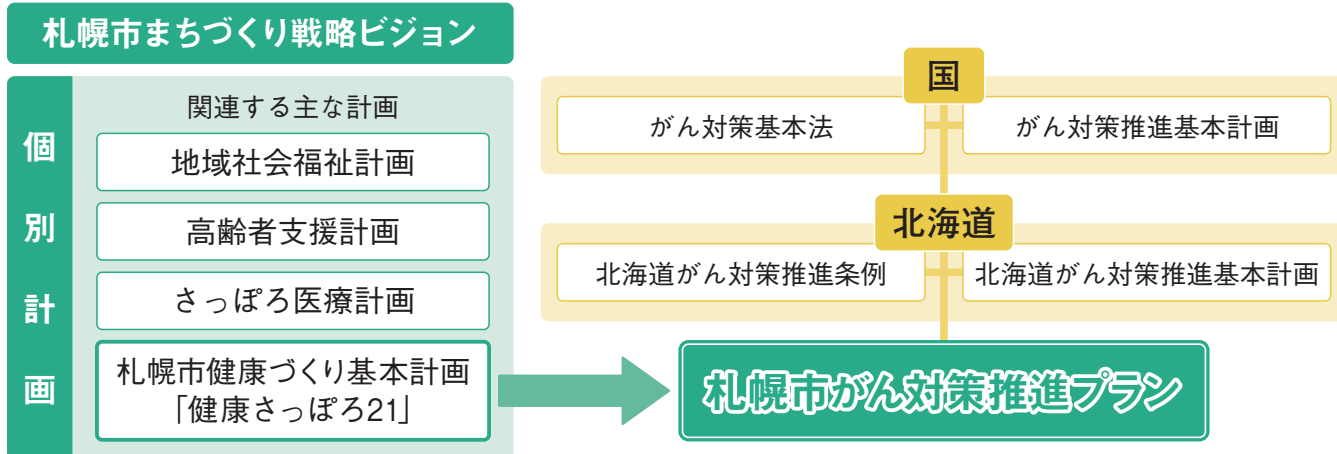


計画期間

令和6～11年度の6年間

計画の位置づけ

札幌市のまちづくりの基本指針である「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」の個別計画である「健康さっぽろ21」のがん対策における実施計画として位置付けています。



札幌市では、がん治療に伴う外見の変化や社会活動への参加に対する不安を和らげ、誰もが自分らしく活躍できるよう、がん治療によるアピランス(外見)の変貌を補完する補正(補整)具(ウィッグや乳房補正具)の購入費用助成事業を令和6年度から開始します。

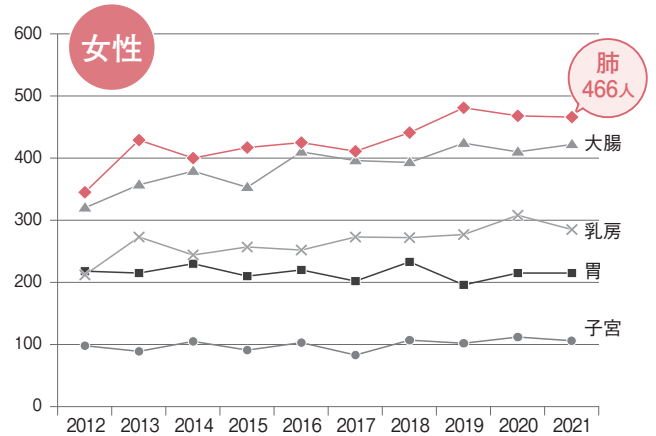
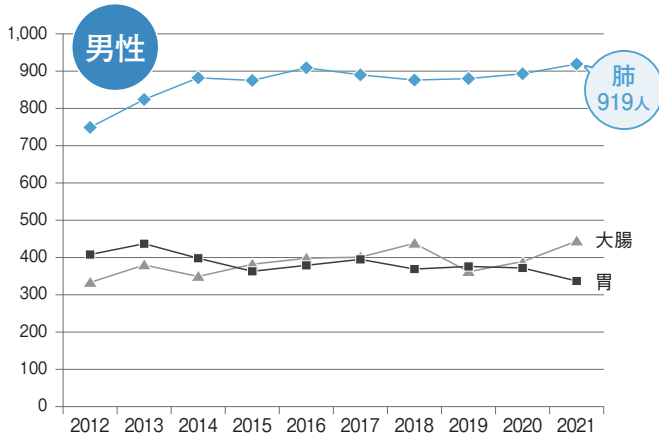


札幌市がん対策普及啓発推進キャラクター
『けんしんけん』

札幌市における「がん」の現況と市民意向

(1) 札幌市における「がん」の現況

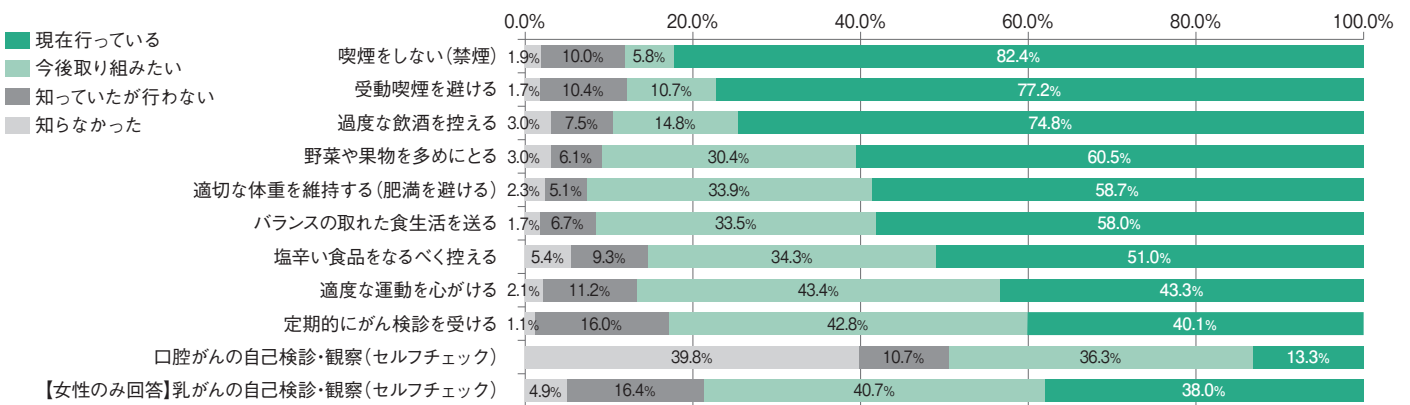
男女とも肺がんによる死亡数が最も多く推移しており、特に男性では年間900人前後が肺がんにより亡くなっています。また、全国平均と比べても、札幌市では肺がんによる死亡割合が男女とも高くなっています。



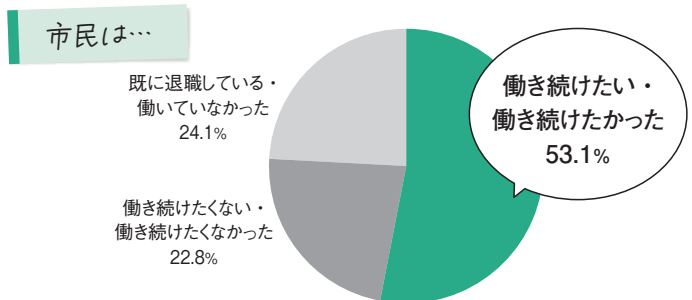
出典：人口動態調査（厚生労働省）

(2) 札幌市民のがんに対する意識（『がんに対する市民意識調査』より（令和4年9月実施））

・がん予防に関する情報の認知度は高いが実際の行動へ結びついていないものもあります。

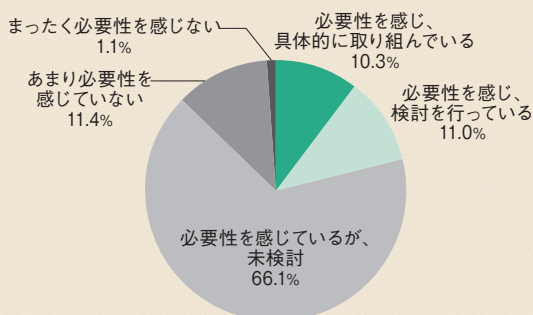


・過半数の市民が『がんになっても働き続けたい』と考えていますが、事業者において、仕事と治療の両立が可能な職場づくりの検討や実施が十分に進んでいるとは言えません。

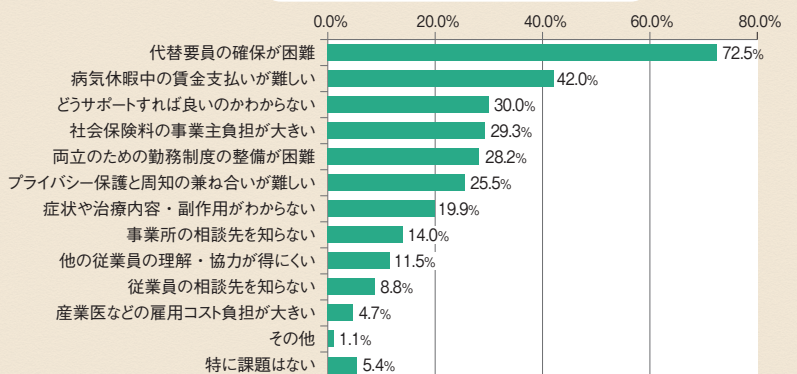


事業者は…

仕事と治療の両立の必要性



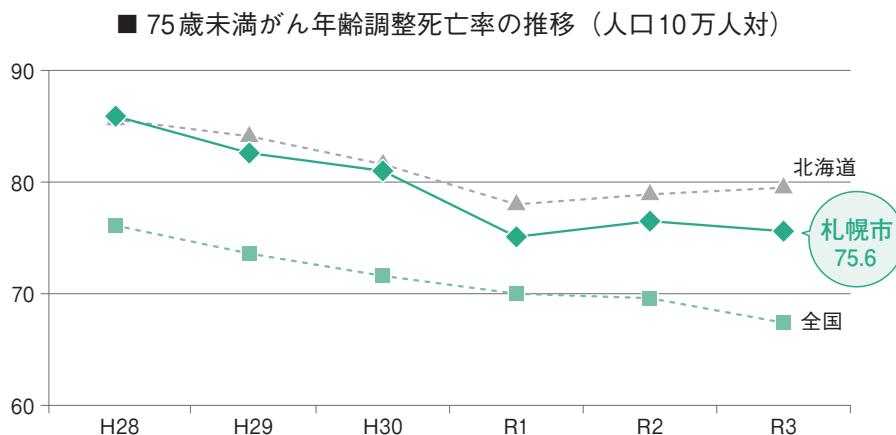
両立可能な職場づくりの課題



1 「がん」による死亡者数・死亡率

札幌市は、「がんによる死亡率の減少」を定め、国の基本計画の目標と同様の考え方のもと、平成23年時点の「92.6」を基準として令和5年までの12年間で24.1%の減少となる「70.3」を目標としてきました。

令和3年までの10年間の減少値は目標値をやや下回る減少傾向であり、依然として全国平均に比べて高くなっています。

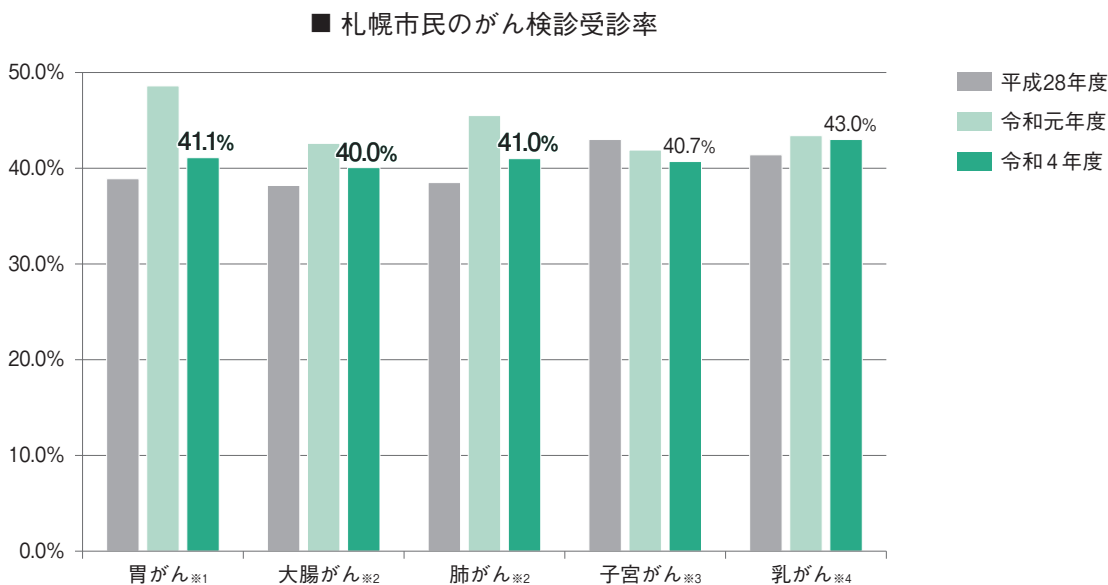


出典：がん統計（国立がん研究センターがん情報サービス）、衛生年報（札幌市）、住民基本台帳（札幌市）

2 「がん」予防の状況

「がん検診受診率」は令和4年度調査では令和元年度調査に比べいずれも減少していますが、全国的に同様の傾向がみられ、新型コロナウイルス感染症の影響があったと考えられます。

第1次プランでは、胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診については40%、子宮がん検診、乳がん検診については50%の受診率を目標値として定めており、胃がん、大腸がん、肺がんについては、目標値の40%を超えました。

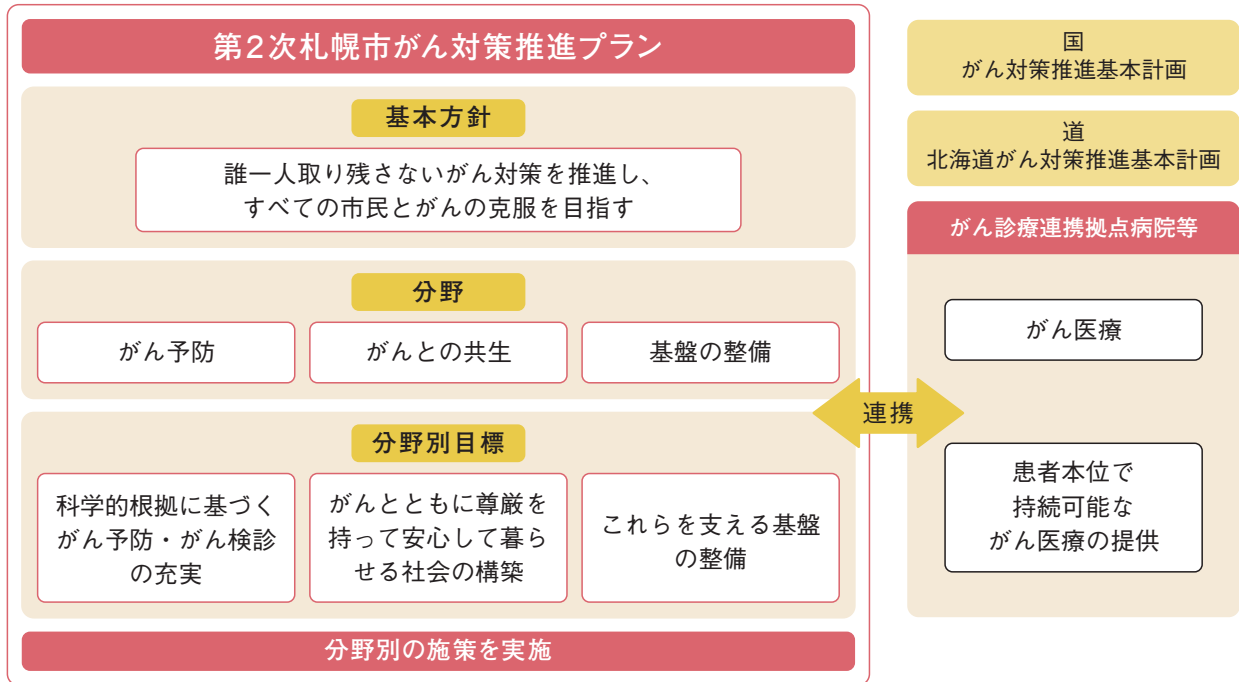


※1 平成28年度は40～69歳の男女、直近過去1年間における受診率。令和元年度以降は50～69歳の男女、直近過去2年間における受診率。
 ※2 40～69歳の男女、直近過去1年間における受診率。
 ※3 20～69歳の女性、直近過去1年間における受診率。
 ※4 40～69歳の女性、直近過去1年間における受診率。

出典：国民生活基礎調査（厚生労働省）

基本方針と分野別目標

- ▶ 基本方針を「誰一人取り残さないがん対策を推進し、すべての市民とがんの克服を目指す」とし、「がん予防」「がんとの共生」「基盤の整備」の3つの分野で目標を設定します。
- ▶ 国の計画に示される「がん医療」の分野については、推進主体であるがん診療連携拠点病院等と連携し関連施策を進めます。
- ▶ 本プランを評価する基準として、国の計画や札幌市の現状などを踏まえた指標を設定し、目標の達成に向けて施策を実施します。



主な指標

分野	指標	現状値	目標値	
がん予防	75歳未満がん年齢調整死亡率(人口10万人対)	75.6	現状値より減少	
	がん検診受診率	胃がん検診	男性	51.3%
			女性	32.6%
		肺がん検診	男性	48.4%
			女性	34.9%
		大腸がん検診	男性	46.1%
			女性	34.9%
	子宮がん(子宮頸がん)検診	女性	40.7%	
	乳がん検診	女性	43.0%	
	精密検査受診率	胃がん検診	44.4%	90%
肺がん検診		74.2%		
大腸がん検診		45.9%		
子宮がん(子宮頸がん)検診		53.5%		
乳がん検診		72.5%		
がんとの共生	北海道がん対策サポート企業等登録制度に登録している企業等のうち、札幌市内の企業等の登録数	829件	現状値より増加	
	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	—	70.5%	
基盤の整備	がん検診WEB及びコールセンター予約システムの供用開始	—	供用開始	

分野別施策

1 がん予防〈目標 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実〉

- ▶ がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことを目指します。
- ▶ 生活習慣や感染症対策など、がんを予防する方法を普及啓発するとともに、科学的根拠に基づいた施策を実施します。
- ▶ 全ての市民が受診しやすい検診体制を整備し、がんの早期発見・早期治療を促すことで、効率的かつ持続可能ながん対策を進めます。

主な取組

(1) がんの1次予防

「生活習慣の改善」「感染症対策」のがん予防に係る正しい知識の普及啓発や科学的根拠を踏まえた適切な情報提供を行います。

種別	取組	取組内容
継続	医師による問診時の禁煙アドバイス	がん検診の問診時に、医師による禁煙アドバイスを実施する。
	ウォーキングの推進	各区におけるウォーキングの普及やウォーキングマップの活用等による運動啓発を実施する。
	札幌市子宮頸がん検診未受診者対策事業	一定の要件を満たす方に、子宮頸がんの原因ウイルスであるHPVの感染状況を調べるHPV自己採取検査を実施する。

(2) がんの2次予防

- がん検診の受診率を上げるとともに、がん検診で要精密検査となった人の精密検査の受診率を上げることで、科学的根拠に基づくがん検診を行うことで、早期発見・早期治療を促します。
- 市民をはじめ企業や関係団体等を含めた幅広い対象に、がん検診の意義及び必要性について適切な情報の普及啓発を行うとともに、がん検診を受診しやすい体制の整備に努めます。

種別	取組	取組内容
継続	無料クーポン券事業	国の要綱に基づき、年齢等の一定要件を満たす市民に対し子宮頸がん・乳がん検診等の無料クーポン券を送付する。
	要精密検査受診率向上対策	一次検診を実施した医療機関と情報を共有し、精密検査未受診者の正確な把握に努め、受診率の向上を図る。
	札幌市がん検診	国の指針に基づく胃・肺・大腸・子宮・乳がん検診の実施。

2 がんとの共生〈目標 がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築〉

- ▶ がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を目指すことで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を図ります。
- ▶ がん患者やその家族等が住み慣れた地域社会で生活をしていく中で、必要な支援を受けることができる環境を整備します。
- ▶ 札幌市、がん患者を含めた市民、企業や団体等は、医療・福祉・介護・産業保健・就労・教育支援分野等と連携し、効率的な医療・福祉・保健サービスの提供や、就労・教育支援等を行う仕組みを整備することで、社会的な課題を解決し、がん患者及びその家族等の苦痛の緩和を図ります。
- ▶ 全てのがん患者が、いつでもどこに居ても、安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を目指し、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質を向上させます。

主な取組

(1) 相談支援及び情報提供

市民や企業等に対し、がん相談支援センターや患者サロンといった相談支援体制の機能、役割や、がん情報サービスなどの国の取組を含めた総合的ながん対策に係る普及啓発を推進します。

種別	取組	取組内容
継続	北海道がんサポートハンドブックの活用、情報発信	ハンドブックを各区、関係機関等に配架し周知するとともに、市民等が手に取りやすい情報発信を行う。

(2) がん患者等の社会的な問題への対策(サバイバーシップ支援)

がんと診断を受けた後も社会的課題による苦痛を受けないよう、就労支援、治療と仕事の両立支援、治療に伴う外見の変化に対する支援、自殺対策等を推進します。

種別	取組	取組内容
レベルアップ	北海道がん対策サポート企業等登録制度	事業者におけるがん対策を推進するために、事業者のがん対策に関する取組内容等を北海道と連携し、周知啓発する。
継続	働く世代のがん患者への支援事業	働く世代のがん患者について、ハローワークでの就労支援を行うほか、札幌市会計年度任用職員として採用し、次の就労につなげる。
新規	がん患者のウィッグ及び乳房補正具購入費用助成事業	がん治療による外見の変化を補完する、ウィッグや乳房補正具の購入費用を助成する。
	医療従事者向け自殺対策研修	がん支援に携わる医療従事者向けのゲートキーパー [*] 研修を実施する。

^{*}ゲートキーパー：自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を図ることができる人

(3) ライフステージに応じた療養環境への支援

小児から高齢者まであらゆる世代の個々のライフステージごとに、がんによって異なった身体的問題、精神心理的問題及び社会的問題が生じることから、患者のライフステージに応じたがん対策を推進します。

種別	取組	取組内容
レベルアップ	小児慢性特定疾病児童等自立支援事業	自立に困難を伴う小児慢性特定疾病児童等に対し、相談体制の強化を図るとともに、ニーズに応じた各種事業を実施する。
継続	介護サービスの提供	介護保険制度に基づき、介護が必要な被保険者へ訪問介護・訪問看護等の介護サービスを提供する。
	医療機関と介護事業所の連携促進	高齢者等に切れ目のない医療・介護サービスを提供するため、関係機関と連携して医療機関と介護事業所の連携を促進する。

3 基盤の整備〈目標「がん予防」「がんとの共生」を支える基盤の整備〉

子どもに向けたがん教育や、市民に向けたがんに関する情報の普及啓発、がん患者や市民が主体的にがん対策に参画する機会の創出、デジタル技術を活用した検診受診体制の環境を整える等の基盤の整備に取り組みます。

主な取組

(1) がん教育及びがんに関する知識の普及啓発

市内の医療従事者やがん患者団体等と連携し、子どもへのがん教育推進のために外部講師の派遣や様々な媒体を活用した普及啓発を実施します。

種別	取組	取組内容
レベルアップ	がん教育推進支援	市立教育機関へ、医師や看護師等の医療従事者またはがん経験者を外部講師として派遣する。
継続	がん対策に関する普及啓発	関係機関と連携し、市民のほか企業等に向けた総合的ながん対策について、さまざまな媒体を利用した普及啓発を実施する。

裏表紙(7P)に続きます

(2) 患者・市民参画の推進

がん経験者が、がん教育の講師を行う事業を通じ、がん対策に参画することを推進するとともに、地域で活動する住民組織と連携しながら、がん予防やがん検診受診による早期発見・早期治療に、市民が主体的に取り組めるように努めます。

種別	取組	取組内容
継続	がんに対する市民及び事業者の意向把握	定期的に市民及び市内事業者の意向を把握し、地域の実情に適した施策の検討を行う。

(3) デジタル化の推進

地区センターなどで実施している集団検診の受診の際に、WEB及びコールセンターによる予約方法を導入するよう検討を進めます。

種別	取組	取組内容
新規	がん検診WEB及びコールセンター予約システムの導入	集団検診受診の際にWEBやコールセンターによる予約方法を設ける(令和8年度中開始予定)

計画の推進にむけて

関係者等との連携協力

「市民」、「地域」、「関係機関」、「行政」それぞれが健康づくりに取り組むことを基本戦略とし、札幌市全体でがん対策を推進していきます。

市民

がん対策、特にがん予防や早期発見・早期治療には、市民が主体的に取り組むことが必要です。

地域

町内会等の地域で活動する住民組織は、がん予防やがん検診受診による早期発見・早期治療に、地域住民が取り組むよう支援することが求められます。

連携

関係機関

保健医療福祉関係者、医療保険者、事業者・商工団体・業界団体、教育関係者などは、がんに関する正しい知識の情報提供、他の関係者への支援や環境づくり等を通じ、がん対策に取り組むことが求められます。

行政(札幌市)

他の関係者や国、北海道等と連携し、本プランに基づく取組を実施していくほか、関係者から提供されたがんに関するデータの整理・分析を行い、より効果的ながん対策の推進に努めます。